

【埼玉県議会議員候補予定者】



新しい時代を皆さんとともに。

たていし やすひろ

立石 泰広

自由民主党川口支部 支部長
埼玉県議会自民党議員団 副団長
人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会 委員長

昭和36年12月3日 丑年 川口市生まれ
西川口幼稚園・仲町小学校・玉川学園中学部・高等部・
玉川大学文学部・明治大学大学院(公共政策修士)
第60代川口市議会議長(埼玉県議長会会長)
議会運営委員長・企画財政委員長・
産業労働企業委員長等歴任

限りなき挑戦

もっと身近に。
もっとわかりやすく。
もっと元気に。
あなたの川口市と
埼玉県をつなぐ。

未来をひらけ!
ながせ
永瀬ひでき



埼玉県議会議員 ■川口市議会議員
川口鋳物工業協同組合相談役 ■川口市空手道連盟名誉顧問
自民党川口支部 副支部長 ■埼玉県技能士会連合会顧問

時代は変わります。
変わる時代をより良い時代に変えていく。人口が減り、お年寄りが増える中、どう子供たちに負担の少ない社会をつくるか。愛する郷土・川口の市民が安心して、誇りをもって暮らすことができるようにする。
私はこの責任を受け止めて、皆様と共に、皆さまの思いや願いの代行者として、市民の皆様と未来を担う子供たちのために、これからも全身全霊を懸けて、前に進んでまいります。

喫緊の課題の取り組み ~国・県・市が連携して~

地域区分の特例等の見直しに関する要望活動

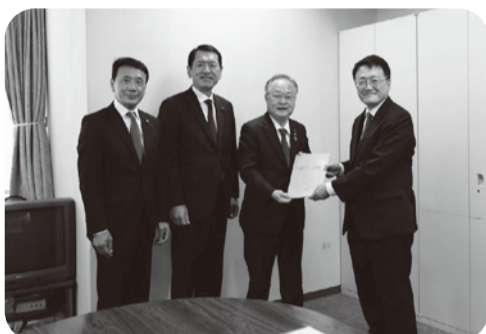
令和4年12月、厚生労働大臣へ「介護報酬等における地域区分の特例等の見直しに関する要望」と「子ども・子育て支援制度における公定価格での地域区分の特例等の見直しに関する要望」活動を行いました。

現在、市内には800を超える介護事業者がサービスを提供していますが、介護保険制度における報酬単価は、地域区分ごとに差が設けられ、隣接する東京都特別区は1級地として上乗せ割合が20%、さいたま市は3級地として同15%である一方、本市は6級地として6%の上乗せに留まっています。

このままでは、介護従事者が報酬の高い近隣地域へと更に流出していくことは明らかであり、本市の高齢者が住み慣れた地域において安心して暮らすことができるよう障害福祉分野も含め強く要望を行いました。

そして、介護報酬と同様に、子ども・子育て支援新制度における公定価格は、国家公務員や地方公務員の地域手当に準じた地域区分が設定され、本市に隣接する足立区・北区は20%、さいたま市・蕨市は15%となっている一方、本市は6%と格差が著しい状況となっております。

こうしたことから、本市のような近隣市区町村との地域区分格差の大きい市町村については、地域区分の特例の拡大などの必要な措置を講じ、地域区分の均衡を図っていただけますよう特段のご配慮を賜りますよう要望活動を行いました。



中距離電車の川口駅停車要望活動

平成26年奥ノ木市長が市長就任以来、中距離電車停車に向けた鉄道輸送力の増強が求められる中、新藤代議士、奥ノ木市長を始め自民党県議団・市議団が、JR東日本と国土交通大臣に要望を重ねて参りました。

平成27年県知事へ要望書を提出し、平成28年国土交通大臣に要望書を提出しました。

これを受けて、平成28年交通政策審議会「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」の答申(諮問第198号)に地方公共団体からの提案事項として「川口駅におけるホーム新設」が掲載されました。

さらに、令和4年3月川口市は「川口駅周辺まちづくりビジョン」を策定し、同年11月県知事に「交通拠点リニューアルに関する要望書」を提出しました。

今後は、居心地が良く歩きたくなるまちづくり、いわゆる「まちなかウォークブル(案)」を推進するために、川口駅東西間の回遊性の向上を図ることを目指してまいります。



令和4年12月 JR東日本本社にて要望活動の様子

自民党市議団提案による政策条例

これまで自民党市議団で勉強会を重ね、この度令和4年12月定例会で政策条例2本承認可決されました

「大きな声で川口が大好きだと叫んでみませんか川口プライド条例」

川口市は、住みやすいまちのひとつとして注目され、市民意識調査においても、住み続けたいとの回答が85.3%を占める高い割合である一方、誇れる魅力があるとの回答が35.3%と低い割合となっております。

また、ベッドタウン化による新たな住民も多く暮らしており、市民の価値観は多様化し、地域における連帯意識の希薄化が懸念されています。

いつまでも住み続けたいまち川口の実現には、誇れる魅力を向上させ、川口に愛着や誇りを持つ心を育むとともに、市民の一体感を醸成できるような施策の拡充が不可欠であります。

これらのことに鑑み、本条例は、住みやすいまち川口を超えて、ますます選ばれるまち川口、いつまでも住み続けたいまち川口の実現を目指して、川口の魅力を掘り返し、見つけ直し、改めて知るとともに、魅力を高め、発信し、認知を広めることで、多様な価値観を持つみんながひとつになり、自ら進んで、大きな声で川口が大好きだと叫びたいほど、川口をもっと良くしていこうとする「川口プライド」を育むことを目的とする議員提案による政策条例です。



益田議員・関議員・宇田川議員・野口議員・古川議員

「川口市障害のあるなしに関わらず共に学び成長する子ども条例」

障害のある子どもが、教育や保育を受けるうえでの様々な課題を解決するには、社会が一体となり、誰ひとり取り残さないという気持ちを持たなければなりません。しかしながら、現状といたしましては、一般的には共通認識されているものの、実行の源となる意識が十分に醸成されているとは言い切れない状況であります。

また、全ての子どもが共に学び成長するためには、障害の種別や程度に応じて子ども一人ひとりに寄り添う社会の醸成に最優先で取り組む一方で、行政や市民のそれぞれの役割を明確にし、果たすべき責務を実行するための目的に特化した環境整備が急務であると考えております。

これらのことに鑑み、本条例は、障害のある子どもに対する、教育及び保育における差別の解消及び合理的配慮の提供に関する基本理念並びに市及び市民の役割を明らかにすることにより、社会的障壁の除去を推進し、インクルーシブ教育及び保育が実施できる市の実現に寄与することを目的とした議員提案による政策条例です。



荻野議員・若谷議員・奥富議員・前田議員(産休中)